

愛媛大学成果物発表

<わくチャレ説明文章>

久米わくわくチャレンジサタデーは、2005年から松山市の久米公民館、久米小学校、愛媛大学が連携して行っている取組です。愛媛大学教育学部の地域連携実習の一つとして、大学生が10～20名ほど参加し、年に7回ほど、久米小学校の5・6年生を対象に、授業や遊びの各時間を企画・運営しています。

活動後には協議会を開き、授業者の学生が自評を述べ、大学の教授や現職の先生方、地域の方々からの評価や助言を受けて、成長と学びを重ねています。「わくチャレ」では、伝え合い、助け合い、学び合いという三つの目標を掲げ、わくチャレで育てたい子ども像とわくチャレで学ぶ学生像の軸としています。授業や遊びを約1か月間かけて構想し、学生がチームとなって協力して学び合っています。また、子どもたちの感想シートには、年間目標のキーワードに触れたコメントや、グループで楽しく活動できたことや、大学生や異学年との交流が刺激的だったことなどが書かれており、様々なコメントから今後の活動のヒントにして、教育に対する見方・考え方を広げていっています。

今後は、わくチャレだからこそできるユニークな授業や遊びを考え、わくわくできて楽しく挑戦できる空間を子どもと一緒に作っていきたいと考えています。